

特別講義 **ワーク・ライフ・バランス論**

—仕事と生活の調和をめざして—

*** ぜひご参加ください。(無料)**

2008年度前期 4館411教室

毎週水曜日5限 (5月7日は休講)

午後4時20分～5時50分



ワーク（仕事）とライフ（生活）のバランス（調和）をいかにはかるかが、今、日本社会の大きな課題になっています。

その背景には、深刻な少子化問題があります。また、とくに男性は仕事にのめり込み、家事や地域などに目を向けるゆとりすらなくしている人が少なくありません。

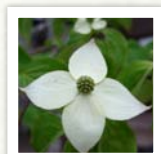
一方、女性は依然として家庭の主な担い手であり、出産や育児で多くの女性が仕事を辞めているのが現状です。

そのような状況を改善し、男女がともにバランスよく仕事、家庭、地域にコミットできるような社会をめざすのが、ワーク・ライフ・バランスです。

そうした社会を実現するには、どんな問題や課題があるのか。この特別講義では、毎回、第一線で活躍されている多彩な講師をお招きし、専門的な立場から、お話をさせていただきます。

この講義は人間社会学部の授業ですが、市民のみなさんも、ぜひ聴講してください。関心のある回だけでもかまいません。

実践女子大学 人間社会学部
鹿嶋 敬・広井多鶴子



*講義計画やアクセス方法など、詳しくは人間社会学科ホームページをごらんください。

* 問い合わせ先

〒191-8510 東京都日野市大坂上4-1-1
実践女子大学 人間社会学科研究室
042-585-7802 jinsha@jissen.ac.jp

【4月16日】ワーク・ライフ・バランスとは何か
人間社会学部教授・内閣府男女共同参画会議議員 鹿嶋 敬

【4月23日】米国のワーク・ライフ・バランス事情
ジャーナリスト 元読売新聞記者 萩原 久美子

【4月30日】ワーク・ライフ・バランスに国はどう取り組むか
—男女共同参画の視点から
内閣府男女共同参画局調査課長 神田 玲子

【5月14日】ダイバーシティの一環としてのワーク・ライフ・バランス
—「P&G」の場合
プロクター&ギャンブル エクスターナルリレーションズ 岩原 雅子

【5月21日】働き方の柔軟性をどう高めるか—イノスの場合
イノス社長 芹川 哲朗

【5月28日】ライフ・フレンドリー企業中心の投資信託
グッドバンカー取締役・SRIアナリスト 朝倉 万喜子

【6月4日】男性が育児休業を2回取ってみて
日本アイ・ピー・エム ソフトウェア事業 河村 忠明

【6月11日】なぜ少子化はとまらないのか
国立社会保障・人口問題研究所副所長 高橋 重郷

【6月18日】男性の子育て論-私の育児支援獲得闘争
キャリア・ネットワーク人材開発サポートチーム 田尻 研治

【6月25日】労働組合とワーク・ライフ・バランス
連合副会長・NHK労連議長 岡本 直美

【7月2日】職場での均等処遇の必要性
厚生労働省雇用均等・児童家庭担当審議官 村木 厚子

【7月9日】死に結びつく労働とは 弁護士(交渉中)

【7月16日】まとめ 人間社会学部 鹿嶋 敬・広井多鶴子

* 講師やテーマ、日程、会場が変更になる場合があります。